



和光市議会議員

菅原

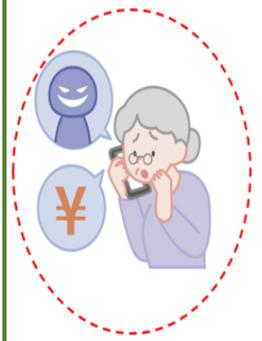
# すがわら 満 議会報告

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉3-14-21 pc-Mail : nehemiah@passion.biglobe.ne.jp

能登半島地震で、亡くなられた方への深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 気を付けよう！！特殊詐欺や消費者被害

埼玉県内の特殊詐欺被害は、埼玉県警察ホームページによると、令和5年11月末の暫定値で、被害額27億7,772万円、認知件数は、前年より減少(△36件)していますが、被害額では1億7,983万円の増となっています。「オレオレ」、「預貯金」、「還付金」の詐欺が多いものとなっています◆和光市では、14件(△9件)で、2,609万円です。令和4年の架空請求では、20代、30代でも被害もみられます。◆この1月には、『その申込み、定期購入になっていませんか？もう一度「最終確認画面」をチェック！』依然として多い通信販売での「定期購入」トラブル』として消費者庁が注意喚起しています。◆特殊詐欺、消費者トラブルに巻き込まれないように、家族内での話し合いや意思疎通を行うとともに、行政や関係機関からの注意情報を参考にしましょう。



## ☆☆☆ 令和5年12月定例議会の決議案などから (いずれも賛成多数で可決。) ☆☆☆

決議案第1号 大島秀彦副市長に対する問責決議	決議案第2号 松本武洋前市長に対する非難決議	決議案第3号 「議案第84号 損害賠償請求の決定及び和解について」に対する付帯決議	議案第94号 和光市副市長定数条例の一部を改正する条例を定めることについて
刑事犯罪について、一般論と個別事案をひき比べているなど、議会としてなじまないと判断し、反対しました。	前市長ではあるが、現在は民間人への非難決議については、なじまないと判断し、反対しました。	議案は、訴えの当事者との和解を進めることにあることから、早期に和解し、賠償を行うことが求められていることから、反対しました。	改正条例の様式を定めた要綱に反したものであること、唐突な提案で提案理由も理解できないことから、反対しました。

※なお、それぞれの決議案は、閉会日の午後1時の議会運営委員会に急遽提案され、午後1時30分再開の本会議で採決をしました。

## ◆◆◆令和5年12月議会の一般質問から◆◆◆

### ヤングケアラー、ビジネスケアラーへの支援について？

**質問:**ヤングケアラー、ビジネスケアラーに支援は、学業や仕事と介護との両立、支援は大きな課題と考えます。第8期計画では、介護者に関して、「孤立防止に向けた支援体制の整備」、「総合的なケアラー支援」、「ケアラーに対する普及啓発」が挙げられている。学業、仕事と介護の両立支援は大きな課題であり、第9期の「和光市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」では、どのような取組を行うのか伺う。

**健康部長:**ケアラー支援について「家族等介護者の負担の軽減と社会参加の継続」という項目の中に記載する方向で検討を行っています。策定検討会議においては、「高齢者版ファミリーサポート事業」の展開などに加えて、ケアラーを支援するため、地域包括支援センターに窓口を設けることで、様々な相談や悩みについて総合的に支援することなどの検討を行っております。



## ヤングケアラーの内容を示した調査の実施を！

**質問:**教育委員会で令和3年度に『和光市立小・中学校における「小・中学生の家庭での役割などの調査』を行っている。ヤングケアラーの内容を示して、子供たちの調査を行ったかどうか伺います。

**子どもあんしん部長:**ヤングケアラーの実態調査は、ヤングケアラーの定義が広範であり、その対象とされる児童の年齢も広範で、一律での調査で全体数、ケアの実態把握は、現状では難しいものと認識しています。いわゆる全数把握ではなく、教育、介護、障害、生活困窮、子ども子育て支援などの支援の中で児童個々の実態を把握しています。個別支援を進めていくとともに、ヤングケアラーに係る情報の集約や分析を行い、実態把握の方法などについて検討を進めていきます。

## 不登校の状況、病気療養児への学習支援の状況は？

**質問:**不登校の現状及び病気療養児への学習支援の状況はどのようになっているのか伺います。

**教育長:**令和4年度の本市の不登校児童・生徒数は、小学校で全体の約1.2%、中学校で全体の4.9%で、いずれも令和3年度より増えています。学校が子どもたちからの様子や言動から認識している要因としては、無気力など気持ちに関する問題が多いという結果があります。しかし、友人関係、家庭内での問題なども気持ち影響することから、様々な要因が考えられると認識しています。

病気療養児は、昨年度市内小中学校に1名在籍しておりました。オンラインでの授業や定期的に学習プリントのやり取りを行うなど、学校と保護者との間で連絡を密にしながら対応したと報告を受けています。



## 不登校支援を進めるための専門的人材のさらなる配置を！

**質問:**不登校支援を進めるために、教育委員会、学校、教職員だけではなく、福祉との連携が一層大切となると考える。さらに、取組推進のために専門的な人材配置に取り組んでいくことについて伺います。



**教育長:**今後の取組においては、人員配置は、大事だと思っています。また、それだけではなく、人材育成についても取り組んでいかなければと考えています。教育委員会として、今後も人材の確保と適正配置、さらには研修などによる育成を通して、人材の確保と質の向上に努めて、だれ一人取り残されない学びの保障に向けた取組を進めていきたいと考えております。

## PFOSなど水道水質の安全確保について！

**質問:**和光市の水道は、深井戸の水を利用しており、他自治体で有機フッ素化合物系のPFOSやPFOAの検出に関する報道があり和光市での水質検査や検査結果の更なる取組を進めていってほしい。

**上下水道部長:**PFOS、PFOAについて、和光市では年1回検査を行っており、国の暫定目標値内となっています。広報では、水質基準51項目を開示してありますが、水質管理上、留意すべき項目27項目のうちの1項目であるPFOS、PFOAについて公表していなかったため、今後ホームページなどでの公表に努めてまいります。



### すがわら満のプロフィール(連続9期目)

- ◆和光市議会 予算決算常任委員会委員長・文教厚生常任委員会委員・議会運営委員会委員／
- ◇和光市都市計画審議会委員／◇(公益財団法人)富士社会教育センター客員研究員



「艱難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生みだし、希望は失望に終わらない。」(ローマ書5章より)